



事 務 連 絡
令和3年12月28日

各都道府県トラック協会 専務理事 殿

公益社団法人 全日本トラック協会
常務理事 藤原利雄

大型車の冬用タイヤ交換作業後の増し締めの徹底について(協力依頼)

平素より、当協会の業務運営に関し、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、大型車の車輪脱落事故防止対策については、「令和3年度緊急対策」による車輪脱落事故防止キャンペーンを通じて、冬用タイヤ交換作業後の増し締めの確実な実施・啓発等に取り組んできたところですが、令和3年12月6日広島県広島市の国道2号線八本松トンネル内において、走行中の事業用大型貨物自動車から左後輪のタイヤ2本が脱落し、対向車等に衝突する車輪脱落事故が発生しました。

国土交通省が事故を起こした大型貨物自動車を調査したところ、貨物運送事業者によるタイヤ交換作業後の増し締めの実施や、タイヤ専門店による増し締めに関するアドバイス等が、一切行われていなかった事が確認されました。

これを踏まえ、大型車の冬用タイヤ交換作業を実施した際には、50km～100km 走行後の増し締めを必ず実施するよう改めて会員へ周知徹底する旨の協力依頼が、別添のとおり、国土交通省自動車局整備課から発出されました。

つきましては、貴協会におきましても本取扱いについて了知されるとともに、傘下会員事業者に対する周知方、よろしくお願い致します。

【参考】

当該事故対向車のドライブレコーダー映像 (YouTube)

<https://youtu.be/NpggcnZDa4c>

タイヤ交換作業管理表

業者ではなく
↓

登録番号又は車番

整備管理者確認欄

作業実施者名

実施日 令和

年 月 日

実施箇所		確認・作業内容	結果 (実施✓・交換×)
清掃の実施	ハブ面	ディスク・ホイール取付面の錆や泥、ゴミなどを取り除く。	
		○ ハブのはめ合い部（インロー部）の錆やゴミ、泥などを取り除く。	
	ディスク・ホイール	ホイール・ナットの当たり面、ハブ取付面の錆やゴミ、泥などを取り除く。	
	ホイール・ボルト、ナット	ホイール・ボルト、ナットの錆やゴミ、泥などを取り除く。	
点検の実施	ハブ面	ディスク・ホイールの取付面に著しい摩耗や損傷がないかを確認	
		ボルト穴や飾り穴のまわりに亀裂や損傷がないかを確認	
	ディスク・ホイール	ホイール・ナットの当たり面に亀裂や損傷、摩耗がないかを確認	
		溶接部に亀裂や損傷がないかを確認	
		ハブへの取付面とディスク・ホイール合わせ面に摩耗や損傷がないかを確認	
	ホイール・ボルト、ナット	亀裂、損傷がないかを確認	
		ボルトの伸び、著しい錆がないかを確認	
		ねじ部につぶれや、やせ、かじりなどがいないかを確認	
		○ ナットの座金（ワッシャ）が、スムーズに回転するかを確認	
		※ ナットの座面部（球面座）に錆や傷、ゴミがないかを確認	
油脂類塗布の実施	ホイール・ボルト	ネジ部にエンジンオイルなどの潤滑剤を薄く塗布する。	
	ホイール・ナット	ネジ部にエンジンオイルなどの潤滑剤を薄く塗布する。	
		※ 座面部（球面座）にエンジンオイルなどの潤滑剤を薄く塗布する。	
	○ 座金（ワッシャ）とナットとのすき間にエンジンオイルなどの潤滑剤を薄く塗布する。		
ハブ	○ ハブのはめ合い部（インロー部）に、グリースを薄く塗布する。		
取付	ホイール・ナットの締め付け	■ タイヤ交換作業時の締め付けトルク値 △	N・m
保守	ホイール・ナットの増し締め	■ タイヤ交換後、50～100km走行後の増し締めを実施する。	

※ JIS方式が対象。

○ ISO方式が対象。ハブのディスク・ホイール取付面、ホイール合わせ面、ホイールと座金（ワッシャ）との当たり面には、塗装、エンジンオイルなどの油脂類の塗布を行わないよう注意すること。

■ 規定の締め付けトルク値は、車両の「タイヤ空気圧ラベル」の近くに表示されています。

△ 対角線順に2～3回に分けて締め付けること（最後の締め付けはトルクレンチで規定トルクで締め付ける）。

注 この内容に沿ったものであれば、自社の様式を使用してもよい。

別添

事務連絡
令和3年12月17日

一般社団法人日本自動車タイヤ協会
技術部部长 殿

国土交通省自動車局整備課
電子装置整備推進官

大型車の冬用タイヤ交換後の増し締めの実施に関する働きかけについて
(協力依頼)

大型車の車輪脱落事故防止対策については、大型車の車輪脱落事故防止「令和3年度緊急対策」による車輪脱落事故防止キャンペーンを通じて、大型車の使用者に向けた冬用タイヤ交換作業や増し締めの確実な実施に係る周知・啓発等に御協力頂いているところです。

しかしながら、令和3年12月6日広島県内において、走行中の大型トラックからタイヤ2本が脱落し、対向車等に衝突する車輪脱落事故が発生しました。

今回、事故を起こした大型車を調査したところ、事故発生の1週間前にタイヤ専門店において冬用タイヤ交換作業が実施されましたが、使用者によるタイヤ交換後の増し締めの実施や、タイヤ専門店による増し締めの実施に関するアドバイス等が、一切行われていなかった事が確認されました。

タイヤ販売店やタイヤ専門店が大型車の冬用タイヤ交換作業を実施された際には、必ず大型車の使用者に冬用タイヤ交換後の増し締めの実施を働きかけて頂くことが車輪脱落事故の防止につながると考えておりますので、関係者への周知徹底方、御協力の程宜しくお願いいたします。

【参考】

当該事故対向車のドライブレコーダー映像 (YouTube より引用)



大型トラックの左後輪タイヤ2本が外れるとともに、車軸が路面に接地し火花が発生



外れたタイヤ2本が弾みながら、対向車に衝突し停止

事 務 連 絡
令和3年12月17日

公益社団法人全日本トラック協会 御中

国土交通省自動車局整備課
(公印省略)

大型車の冬用タイヤ交換作業後の増し締めの徹底について（協力依頼）

大型車の車輪脱落事故防止対策については、大型車の車輪脱落事故防止「令和3年度緊急対策」による車輪脱落事故防止キャンペーンを通じて、大型車の使用者に向けた冬用タイヤ交換作業や増し締めの確実な実施に係る周知・啓発等に御協力頂いているところです。

しかしながら、令和3年12月6日広島県東広島市の国道2号線八本松トンネル内において、走行中の事業用大型貨物自動車から左後輪のタイヤ2本が脱落し、対向車等に衝突する車輪脱落事故が発生しました。

今回、事故を起こした大型貨物自動車を調査したところ、車輪脱落事故発生の1週間前に、タイヤ専門店にて冬用タイヤ交換作業が行われておりましたが、貨物運送事業者によるタイヤ交換作業後の増し締めの実施や、タイヤ専門店による増し締めに関するアドバイス等が、一切行われていなかった事が確認されたため、所管する地方運輸局より貨物運送事業者に対して、増し締めの徹底について指導するとともに、タイヤ専門店並びにタイヤ施行業者の関係団体に対して、別添のとおり協力依頼を行いました。

つきましては、**大型車の冬用タイヤ交換作業を実施した際には、50km～100km走行後の増し締めを必ず実施して頂きたい**と、改めて貴会傘下会員への**周知徹底**方、大型車の車輪脱落事故防止に向けた御協力の程、宜しくお願いたします。

【参 考】

当該事故対向車のドライブレコーダー映像（YouTubeより引用）



大型トラックの左後輪タイヤ2本が外れるとともに、車軸が路面に接地し火花が発生



外れたタイヤ2本が弾みながら、対向車に衝突し停止

タイヤ交換などホイール脱着時の不適切な取り扱いによる 車輪脱落事故が発生しています!

タイヤ交換作業にあたっては、【車載の「取扱説明書」】や【本紙表面に記載の「車輪脱落を防ぐ4つのポイント」】、【下記の「その他、ホイールナット締め付け時の注意点」】などを参照の上、正しい取り扱い(交換作業)をお願いします。

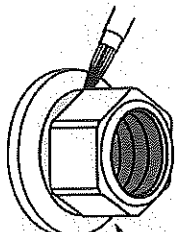
※ホイールナットの締め付けは、必ず「規定の締め付けトルク」で行ってください。
※ホイール取付方法には、JIS方式とISO方式の2種類があります。それぞれ正しい取り扱い方法をご確認いただき、適切なタイヤ交換作業の実施をお願いします。

注意 ホイールナットの締め付け不足。アルミホイール、スチールホイールの取り扱いミス(誤組み付け、部品の誤組み)

その他、ホイールナット締め付け時の注意点

ホイールボルト、ナットの潤滑について ISO方式

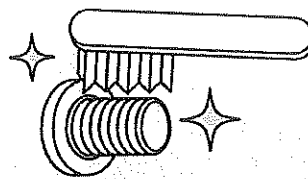
ホイールボルト、ナットのねじ部と、ナットとワッシャーとのすき間にエンジンオイルなど指定の潤滑剤を薄く塗布し、回転させて油をなじませます。ワッシャーがスムーズに回転するか点検し、スムーズに回転しない場合はナットを交換してください。ナットの座面(ディスクホイールとの当たり面)には塗布しないでください。



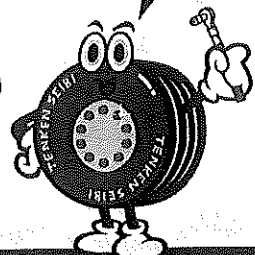
ナットとワッシャーとの隙間への注油も忘れずに!

ディスクホイール、ハブ、ホイールボルト、ナットの清掃について

ディスクホイール取付面、ホイールナット当たり面、ハブ取付面(ISO方式では、ハブのはめ合い部も)、ホイールボルト、ナットの錆やゴミ、泥、追加塗装などを取り除きます。



ホイールナット締め付け時の注意点だよ!



ホイール締め付け方式

ホイールの締め付け方式には、球面座で締め付けるJIS方式と、平面座で締め付けるISO方式があります。また「排出ガス規制・ポスト新長期規制適合」大型車から、左右輪・右ねじとする「新・ISO方式」を採用しました。

ISO方式(8穴、10穴)

ホイールサイズとボルト本数(PCD)	19.5インチ: 8本(PCD275mm) 22.5インチ: 10本(PCD335mm)	ホイールのセンタリング	ハブインロー
ボルトサイズ ねじの方向	M22 左右輪: 右ねじ(新・ISO方式) 右輪: 右ねじ 左輪: 左ねじ(従来ISO方式)	アルミホイールの 置き替え	ボルト交換
ホイールナット 使用ソケット	平面座(ワッシャー付き)・1種類 33mm(従来ISO方式の一部は32mm)	後輪ダブルタイヤの 締め付け構造	
ダブルタイヤ	一つのナットで共締め		

詳しい情報は、日本自動車工業会HPをご覧ください。

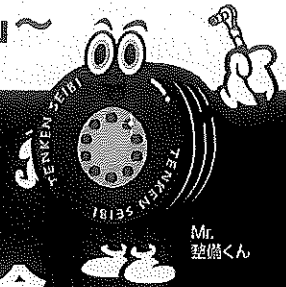
http://www.jama.or.jp/truck-bus/wheel_fall_off/



事業者、ドライバー、整備工場の皆さんの協力をお願いします。

夏冬 タイヤ交換後の 大型車の車輪脱落事故に注意!

～大型車の車輪脱落事故を防ぐ新しい「お・ち・な・い」～



お

とさない!
脱落防止はまず点検。

事前の正しい点検が大きな事故を未然に防ぐ
唯一かつ最善な手段です。

ち

ちゃんと清掃、ちゃんと給脂!

ナットとワッシャーとの
隙間への注油も忘れずに!

- ボルト、ナットの錆や汚れを落とし、エンジンオイルなどを塗布してください。ナットをボルトの奥まで回転させたとき、ナットやワッシャーがスムーズに回転するか点検します。
- スムーズに回転しない場合、ボルトとナットはセットで交換してください。
- ボルトとナットは新品から4年経過後は入念に点検してください。



な

(ナット)
ット締め、トルクレンチを必ず使用!

- 適正なトルクレンチを用いて規定のトルクで確実に締め付けます。



- 初期なじみのため、タイヤ交換後50～100km走行後を目安に増し締めを実施してください。



い

ちにち一回、緩みの点検!

ホイールナットの緩み点検/
インジケーターの正しい使用
方法などがご覧いただけます



- 運行前にボルト、ナットを目で見て手で触って点検。



- 特に脱落が多い左後輪は重点的に点検を。



- ISO方式の場合は、目視で確認できるインジケーター装着による点検がより効果的です。



詳しくは、
こちらから!



国土交通省 自動車点検整備推進協議会 大型車の車輪脱落事故防止対策に係る連絡会 日本自動車工業会(いすゞ自動車 日野自動車 三菱ふそうトラック・バス UDトラック) 全日本トラック協会 日本バス協会 全国自家用自動車協会 日本自動車整備振興会連合会 日本自動車販売協会連合会 全国タイヤ商工協同組合連合会 日本自動車タイヤ協会 全日本石油商販組合連合会 日本自動車車体工業会 日本自動車輸入組合 日本自動車機械工具協会 日本自動車機材器具工業会 自動車用品小売業協会 日本自動車車体整備協同組合連合会

